

企業名	ピジョン株式会社			
活動場所	茨城県常陸大宮市	開始時期	1986年	
所有形態	自社所有林（約96ha）／国有林（約25ha）			
作業主体	植樹式に参加した家族、美和木材協同組合			

主な活動内容

「ピジョン赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン」



- ・赤ちゃんの誕生を記念した植樹
- ・生物多様性保全に向けた森林づくり
- ・地域と連携しながら、植樹・森林づくりを継続

SDGsのうち
主に関連するゴール



8 働きがいの経済成長も

13 気候変動に具体的な対策を

15 陸の豊かさも守ろう

17 パートナシップで目標を達成しよう

ピジョン赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン

私たちの思い

社是である“愛を生むは愛のみ”に沿った
ピジョンらしい社会貢献活動をしたい。

そんな思いから、「赤ちゃん誕生記念育樹」は
1986年にスタートしました。

赤ちゃんを産み育てる感動と喜びを多くの方々と共有するとともに、
子どもたちの未来へ残す森づくりと、
次世代を担う赤ちゃんに自然が永続的に守られていくための
環境づくりに貢献していきたい。

“育児と育樹、心はひとつ”

このスローガンはいつまでも変わることはありません。



赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーンのはじまり

第1～20回は国有林を舞台に、分収造林制度を活用して、植樹を始めました。

【国有林野における分収造林制度とは？】

国と造林者（企業等）間の契約
 国有林野に主にスギ・ヒノキを1ha以上植樹
 60～80年育樹した後、伐採・販売
 その収益を国：造林者＝3：7で分収する制度。
 ・土地所有は国
 ・森林管理は造林者（森林組合などに委託可能）

～企業等のメリット～
 分収造林は不動産取得税・固定資産税の対象外
 → 山林を取得する必要がなく、コストを抑えられる

国有林の植樹地 第1～20回（茨城県常陸大宮市）



国有林は、主に針葉樹を植樹することや自由に土地開発が出来ない等の制限がありました。※

※1992年以降は、企業の社会貢献などを目的とする「法人の森林」制度が始まり、広葉樹の植栽や森林整備活動の裁量が広がっています。

自然とふれあいながら思い出を重ねられる森に

2007年（第21回）から、植樹地の舞台を国有林から社有林「ピジョン美和の森」に移しました。

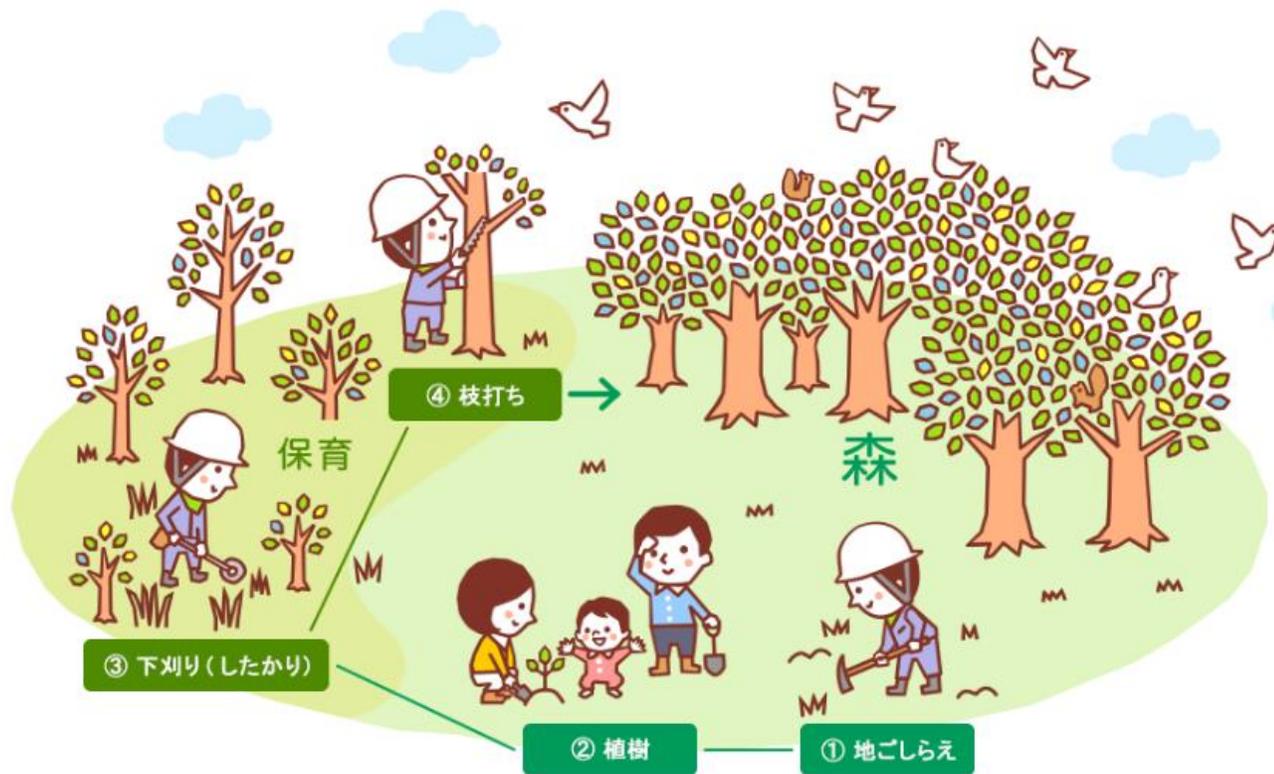
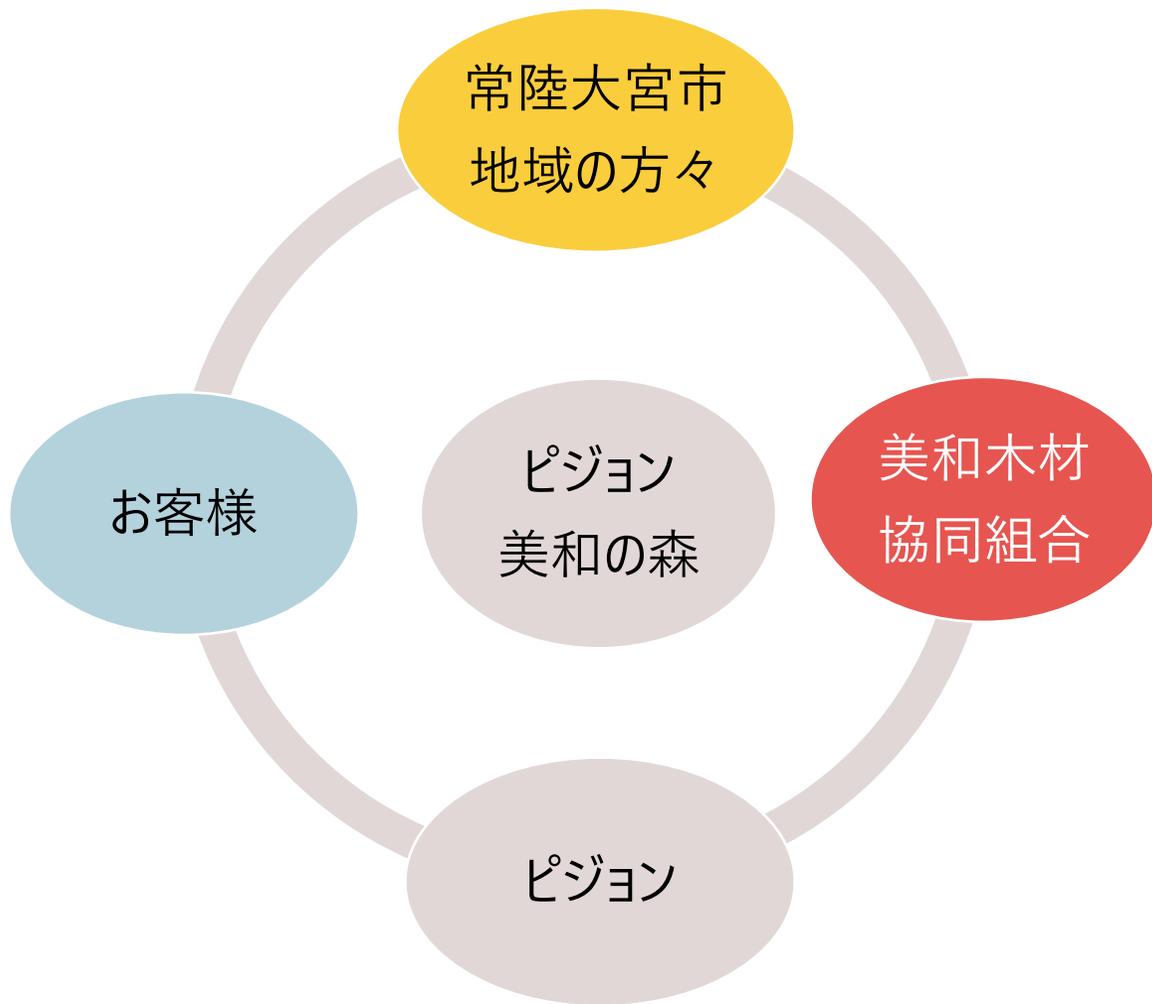
- 伐採時期を迎えた針葉樹を伐採し、広葉樹を植えることで「針広混交林」に
 - 樹種の多様化
 - 落ち葉によって土壌が豊かになり微生物が活発に
 - 木の実に小鳥が集まる など
- 自然とのふれあいの場として、ビオトープを設置
 - ホタルやカエル・トンボなど様々な生き物が生息



- ご家族の憩いの場「すくすくハウス」では「植樹者名簿」や「未来のお子さまへのメッセージ」をご覧いただいたり、授乳やおむつ替えも出来ます。



地域と連携しながら、植樹・森林づくりを継続



美和木材協同組合の皆様